

(2) 工業用水道事業

重点施策：4、実施事業：4（再掲除く）

将来像		重点施策	実施事業		資料編 ページ	
1	市民生活を支える 強靱な上下水道をつくる	1-1	上下水道施設の 長寿命化と 改築・更新	1-1-1	アセットマネジメント手法を活用した 効率的・計画的な更新	33
		1-3	震災対策の 拡充・強化	1-3-1	上下水道施設の耐震化	34
7	健全な経営を行う	7-1	効率的・計画的な 事業運営	7-1-2	アセットマネジメント手法を活用した 効率的・計画的な更新（再掲）	-
				7-1-4	AI や ICT を活用した業務の効率化	35
		7-2	多様な収入の確保	7-2-2	水道・工業用水道利用促進対策	36

将来像 1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる

重点施策 1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新
重点施策 1-3 震災対策の拡充・強化

重点施策 1-2 豪雨対策の拡充・強化
重点施策 1-4 危機管理体制の充実・強化

【工水】

事業名	1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新				
取組内容	<p>工業用水道施設については、今後急速に老朽化が進み、近い将来に大規模改修や施設更新の増加が予測されます。</p> <p>そこで、適切な維持管理により工業用水道施設の安全性・信頼性を確保しながら、長寿命化を図るとともに、経年劣化した工業用水道施設の計画的な更新を推進し、ライフサイクルコスト（LCC）の最小化と平準化を図ります。</p> <p>【浄水施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本城浄水場の長寿命化 ・建築物の長寿命化 ・長期整備計画に基づく浄水設備の更新 <p>【工業用水道管】</p> <p>経年劣化した工業用水道管を効率的かつ計画的に更新します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若松区響町地内に供給している工業用水道管路の更新 				
目 標		R 元実績		R7 末目標	
	浄水施設の長寿命化	—	→	3 箇所 (R3~R7 計画)	
	工業用水道管路の更新	4.1km (H28~R2 計画 5.1km)	→	4.3km (R3~R7 計画)	
目標の設定根拠 (参考)	浄水施設の長寿命化	計画的かつ長期的な視点で事業を推進するため、本計画では、浄水場施設で長寿命化対策が未着手であり、対策が最も急務とされる本城浄水場を対象とします。そのうち、排泥池（上水兼用）、小竹系沈澱池、濃縮槽（上水兼用）の3箇所を目標に設定します。			
	工業用水道管路の更新	アセットマネジメント手法に基づく実際の耐用年数を更新基準とし、劣化調査や管路の重要度・影響度を踏まえ、需要が増加している若松区響町地内に供給している管路等を更新対象とします。対象管路延長となる 11.3km を今後 15 年間で更新することを目標とし、本計画期間では 4.3km の更新を目標とします。			
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7
浄水施設の長寿命化			3 箇所	→	
浄水設備の更新			→		
工業用水道管路の更新			4.3km	→	
効 果	工業用水道施設の健全性とライフサイクルコストの最小化・平準化を両立することで、安定した事業運営ができるようになります。				

将来像 1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる

重点施策 1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新 重点施策 1-2 豪雨対策の拡充・強化

重点施策 1-3 震災対策の拡充・強化 重点施策 1-4 危機管理体制の充実・強化

【工水】

事業名	1-3-1 上下水道施設の耐震化				
取組内容	<p>工業用水道施設の耐震補強による耐震化を効率的かつ計画的に進め、強靱な工業用水道を目指します。</p> <p>【浄水施設】 浄水処理に関連する全ての施設を対象に耐震化を計画的に推進し、施設の強靱性と健全性を確保していきます。 ・本城浄水場の耐震化（令和3～8年度）（再掲）</p> <p>【工業用水道管】 工業用水道管の耐震化については、管路の更新にあわせて計画的に行っていきます。 ・工業用水道管路の更新（耐震化）（再掲）</p>				
目 標		R 元実績		R7 末目標	
	浄水施設の耐震化 （再掲）	—	➔	3 箇所 （R3～R7 計画）	
	工業用水道管路の更新 （耐震化）（再掲）	4.1km （H28～R2 計画 5.1km）	➔	4.3km （R3～R7 計画）	
目標の設定根拠 （参考）	浄水施設の耐震化 （再掲）	本城浄水場の工業水道施設の多くは上水道事業との共用施設のため、上水道事業とあわせて耐震化を推進します。対象施設は排泥池（上水兼用）、小竹系沈澱池、濃縮槽（上水兼用）の3箇所を目標とします。			
	工業用水道管路の更新 （耐震化・再掲）	工業用水道管路の更新と同時に、耐震化を進めます。			
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7
浄水施設の耐震化（再掲）			3 箇所	➔	
工業用水道管路の更新（耐震化）（再掲）			4.3km	➔	
効 果	大規模な地震が発生した場合においても、工業用水道使用者への安定給水を確保できます。				

将来像 7 健全な経営を行う

重点施策7-1 効率的・計画的な事業運営

重点施策7-2 多様な収入の確保

重点施策7-3 経営基盤強化に向けた検討

【工水】

<p>事業名</p>	<p>7-1-4 AI や ICT を活用した業務の効率化</p>				
<p>取組内容</p>	<p>工業用水道の検針については、高度情報社会を迎えデジタル化が進んでいるにもかかわらず、アナログ方式のままであり、受水会社からも要望があることから、スマート検針（自動検針）の導入に取り組んでいます。</p> <p>平成 30 年度よりモデル実施、検証を行い、令和元～2 年度にかけてスマート検針用の流量データ収集装置を受水会社 69 社（77 箇所）に設置し、令和3年度から本格実施の予定です。</p> <div data-bbox="427 728 1369 1579" style="text-align: center;"> <p>スマート検針のイメージ</p> </div>				
<p>目標</p>	<p>スマート検針システムの運用を開始、継続します。</p>				
<p>年次計画</p>	R3	R4	R5	R6	R7
<p>スマート検針システム運用</p>					
<p>効果</p>	<p>受水会社へ情報提供によるサービスの向上を図るとともに、検針の経費も節減されることから、安定した事業運営ができるようになります。</p>				

将来像 7 健全な経営を行う

重点施策7-1 効率的・計画的な事業運営

重点施策7-2 多様な収入の確保

重点施策7-3 経営基盤強化に向けた検討

【工水】

<p>事業名</p>	<p>7-2-2 水道・工業用水道利用促進対策</p>																
<p>取組内容</p>	<p>本市の企業立地関連部局と連携し、政令指定都市で一番安価な料金や使用水量に応じて最適な料金プランで利用出来る二部料金制のPR活動に取り組み、工業用水道利用者の需要の拡大を図ります。</p> <p>○工業用水 PR 資料</p>  <p>○企業立地関連部局との連携（企業立地ガイドでの工業用水 PR）</p>  <table border="1" data-bbox="997 1288 1428 1411"> <thead> <tr> <th>契約水量</th> <th>使用料金</th> <th>基本料金</th> <th>基本使用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300ml/日以上</td> <td>23.5円</td> <td>19.5円</td> <td>4円</td> </tr> <tr> <td>300ml/日未満</td> <td>38円</td> <td>34円</td> <td>4円</td> </tr> </tbody> </table>					契約水量	使用料金	基本料金	基本使用料金	300ml/日以上	23.5円	19.5円	4円	300ml/日未満	38円	34円	4円
契約水量	使用料金	基本料金	基本使用料金														
300ml/日以上	23.5円	19.5円	4円														
300ml/日未満	38円	34円	4円														
<p>目標</p>	<p>R元実績</p>		<p>R7 末目標</p>														
<p>新規または増量件数</p>	<p>5件 (H28~R2 計画 5件)</p>		<p>5件 (R3~R7 計画)</p>														
<p>目標の設定根拠 (参考)</p>	<p>企業立地部門と連携しながら工業用水道の新規または増量件数の拡大に取り組み、H28~R元の新規契約実績(5件)を踏まえて、本計画期間では5件を目標として設定します。</p>																
<p>年次計画</p>	<p>R3</p>	<p>R4</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>	<p>R7</p>												
<p>需要の拡大に向けたPR活動</p>																	
<p>需要の拡大 (新規又は増量)</p>			<p>5件</p>														
<p>効果</p>	<p>工業用水道の利用促進により収入を確保することで、安定的な事業運営につながります。</p>																

中期経営計画実施事業設定目標一覧(工業用水道事業分)

将来像		重点施策		実施事業		項目	現状 (R元年度)	目標	目標 年度
1	市民生活を支える強靱な上下水道をつくる	1-1	上下水道施設の長寿命化と改築・更新	1-1-1	アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新	浄水施設の長寿命化	-	3箇所	R7
						工業用水道管路の更新	4.1km [5.1km]	4.3km	R7
		1-3	震災対策の拡充・強化	1-3-1	上下水道施設の耐震化	浄水施設の耐震化 (再掲)	1-1-1 再掲		
						工業用水道管路の更新 (再掲)	1-1-1 再掲		
7	健全な経営を行う	7-1	効率的・計画的な事業運営	7-1-2	アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新 (再掲)	1-1-1 再掲			
				7-1-4	AIやICTを活用した業務の効率化	スマート検針システム運用	-	開始	R3
		7-2	多様な収入の確保	7-2-2	水道・工業用水道利用促進対策	新規または増量件数	5件 [5件]	5件	R7

※ [] はH28～R2年の5年間の中期経営計画目標値